

苫小牧工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	応用英語 I
科目基礎情報				
科目番号	0050	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境システム工学専攻	対象学年	専1	
開設期	前期	週時間数	前期:2	
教科書/教材	Outlook on Science and Technology (南雲堂)			
担当教員	石川 愛弓			

到達目標

1. 英文の展開パターンを理解し、主張や根拠を正確に捉えるための「論理的な読み方」を身につける。
2. 異文化理解・多文化共生の観点から社会を見つめ直す視点を養い、グローバル時代の技術者として必要な考え方や態度を身につける。
3. 学習内容についてポイントとなる語句や表現を用いつつ、日本語および毎分100語以上の英語で内容を説明することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安
評価項目1	英文の意味とその内容の本質を正しく理解し、多様な視点から論理的な考察を加えることができる。	英文の意味とその内容の本質を正しく理解し、論理的な考察を加えることができる。	英文の意味とその内容の本質を概ね理解し、簡単な考察を加えることができる。	左記に満たない。
評価項目2	英文の内容と要点を正確に日本語で説明できる。	英文の内容と要点を日本語で説明できる。	英文の内容を日本語で説明できる。	左記に満たない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	自然科学分野の英文エッセイを読み、論理展開の手法やルール、表現を学ぶことで「論理的な読み方」「論理的な書き方」を身につける。
授業の進め方・方法	授業はテキストの読解・解説、音読、問題演習、小テストなどを中心とする。
注意点	授業内でTOEIC対策は行わないが、各自計画的に学習を進めること。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Unit1 Reasons/Conclusions	筆者の意見をその根拠を述べるための論理展開と表現を理解する
		2週	Unit2 Analysis(Social Phenomena)	筆者の意見をその根拠を述べるための論理展開と表現を理解する
		3週	Unit3 Analysis(Evidence)	筆者の意見をその根拠を述べるための論理展開と表現を理解する
		4週	Unit4 Controversy	対立する意見や事象について考察するための展開と表現を理解する
		5週	Unit5 Comparison/Contrast	対立する意見や事象について考察するための展開と表現を理解する
		6週	Unit6 Classification	対立する意見や事象について考察するための展開と表現を理解する
		7週	Unit7 Chronological Order	時系列や過程に沿った英文展開と表現を理解する
		8週	Unit8 Cause & Effect	時系列や過程に沿った英文展開と表現を理解する
	2ndQ	9週	Unit9 Process Analysis	時系列や過程に沿った英文展開と表現を理解する
		10週	Unit10 Explanation (Theory)	各ボディパラグラフが独立しているタイプの英文展開と表現を理解する
		11週	Unit11 Definition	各ボディパラグラフが独立しているタイプの英文展開と表現を理解する
		12週	Unit12 Explanation (Experiment)	各ボディパラグラフが独立しているタイプの英文展開と表現を理解する
		13週	Unit13 Graph Analysis	各ボディパラグラフが独立しているタイプの英文展開と表現を理解する
		14週	Unit14 New Business	各ボディパラグラフが独立しているタイプの英文展開と表現を理解する
		15週	Review	これまでの学習内容を振り返る
		16週	定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	前8,前9
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	前8,前9
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	前10
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	前4,前5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	前4,前5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	前6,前7,前11,前15

評価割合				
	定期試験	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	20	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0